

TOTO

自動洗浄小便器ジアテクト(AC100Vタイプ) 自動洗浄小便器(AC100Vタイプ、アルカリ乾電池タイプ)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	警告 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		してはいけない「禁止」内容です。
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。		湿気が多い場所で使用しないでください。
			必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

浴室内などの湿気が多い場所に設置しない
故障、漏電の原因になります。

水場使用禁止

注意

必ず2人以上で施工を行う
腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

必ず実行

施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する
家財を汚す原因になることがあります。

2 同梱部品の確認 (梱包を開梱し、下表を参照して確認してください)

名称	数量	略図	備考	
上ふた	1個			
給水金具	開閉工具	1個		
	止水栓	1個		
	クイックファスナー	1個		
着脱トラップ	1個		UFS810型 UFS820型 UFS860型のみ	
クリーントラップ用ふた	1個		UFS800型のみ	
固定片	固定片	2個		UFS810型 UFS820型のみ
	木ねじ一式	木ねじ6個 ゴムワッシャー2個		
バックハンガー	バックハンガー	2個		UFS800型 UFS860型のみ
	木ねじ一式	木ねじ6個 座金2個		
アルカリ乾電池	2個		アルカリ乾電池 タイプのみ	
洗浄用磁石	1個		お客様に必ず お渡しください	
施工説明書	1枚	本紙		
取扱説明書	1枚		お客様に必ず お渡しください	
インシュロック	1個		コントローラー部に取付 説明書を貼り付けています	

●排水金具(排水ソケットまたは壁フランジ)は別梱包です。

3 取り付け前に

- 水道工事と電気工事は十分に工程を打合せのうえ、行ってください。
- 電源線は現場でご用意ください。(AC100Vタイプのみ)
- アース線は不要ですので、2芯の電源線をご使用ください。(AC100Vタイプのみ)

警告

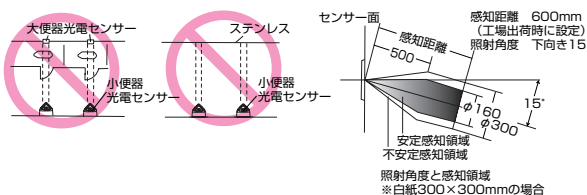
浴室内などの湿気が多い場所に設置しない

水場使用禁止

必ず実行

万一の際の危険防止のため、必ず過電流遮断器、漏電遮断器を設置する
使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル
(φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは2.0mmのより線)

- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.07MPa(11L/min 流動時)、最高水圧0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- センサー面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
センサーの照射角度および感知距離は、図のとおりです。なお、小便器の前に手すりなどを設置する場合は、光電センサーの感知領域内(安定感知領域内および不安定感知距離内)に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場所への設置や、光電センサー同士(大便器自動洗浄システム用光電センサーを含む)が対立するような設置は誤作動を生じますので避けてください。
- 強い太陽光が入る環境では作動しない場合があります。
- インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。



4 各部の名称と部品確認

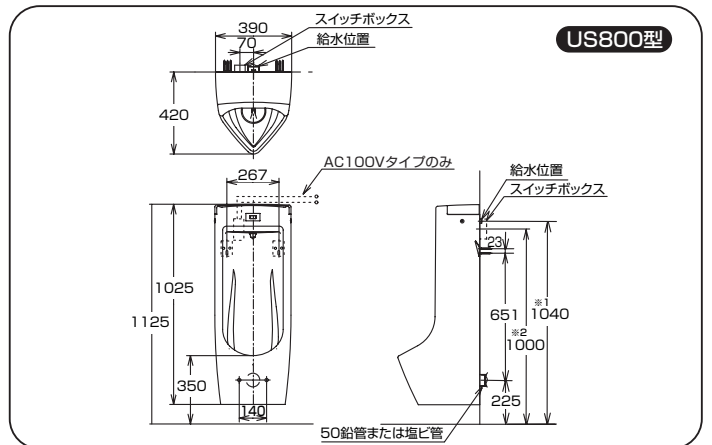
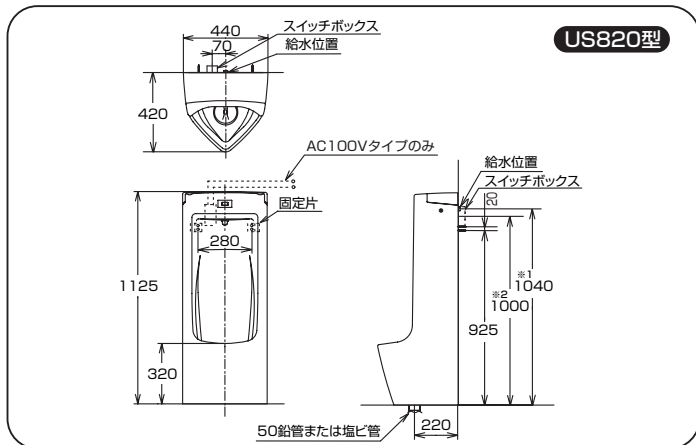
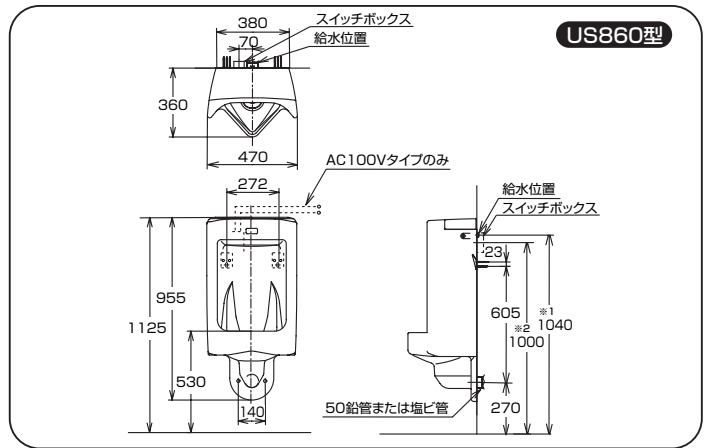
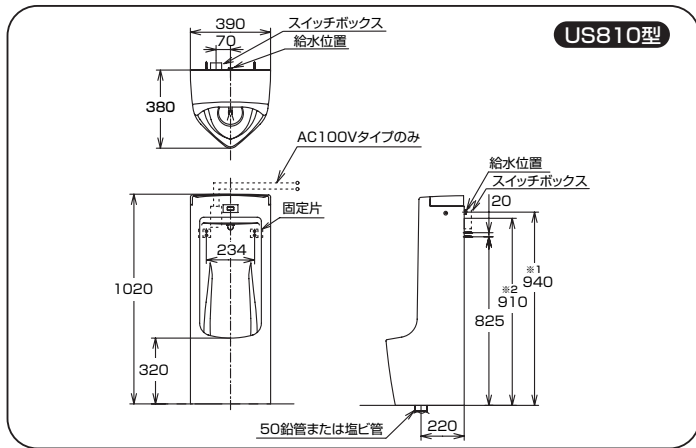
■UFS820型
■UFS810型

※はAC100Vタイプのみ

■UFS860型
■UFS800型

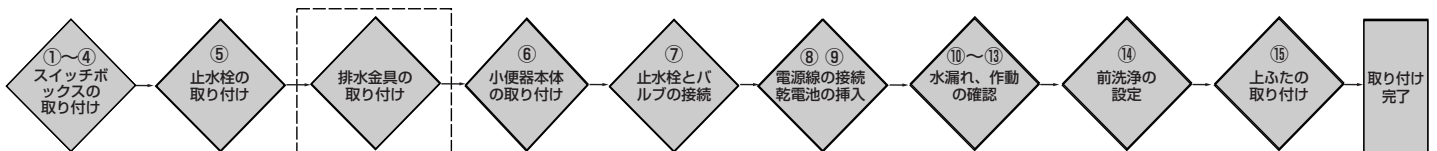
※はAC100Vタイプのみ

5 完成図



※1 給水位置 ※2 スイッチボックス位置 (AC100Vタイプのみ)

6 施工の手順 AC100VタイプのみAC100Vの電源工事が必要です。小便器取り付け前に必ず施工の手順①～④の工事を行ってください。

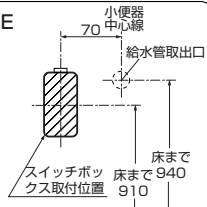


※排水金具の取り付けは排水金具と同梱の施工説明書に従って取り付けてください。(T64CWを除く)

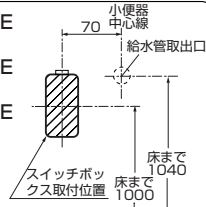
1. スイッチボックス取付位置の墨出し

下地壁に取付位置の中心線を墨出しします。

US810CE
US810C

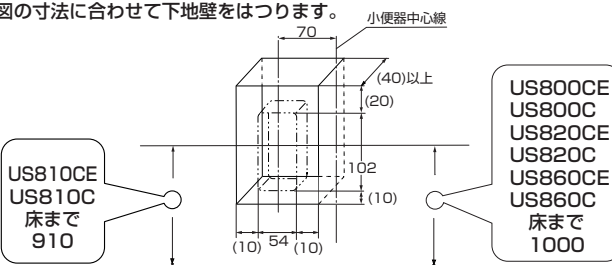


US800CE
US800C
US820CE
US820C
US860CE
US860C



2. 下地壁のはつり

図の寸法に合わせて下地壁をはつります。

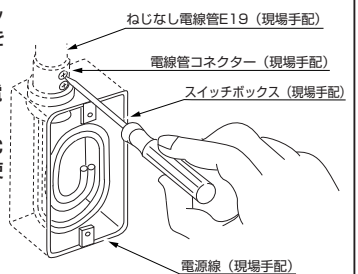


3. スイッチボックスの取り付け

電線管コネクターにより電線管とスイッチボックスを接続し、電源線を電線管に通してスイッチボックス内に引き込みます。

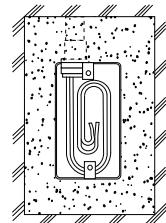
- スイッチボックスは1個用スイッチボックス(カバーなし、JIS C8340)を使用してください。
- アース線は不要ですので、2芯の電源線を使用してください。
- 電線管は、ねじなし電線管 (JIS C 8305 呼びE19、現場手配) を使用してください。

- 電源線はボックスより必ず40cmくらい余裕をもって引き出し、ボックス内にまるめて入れておいてください。



4. 下地壁の埋め戻し

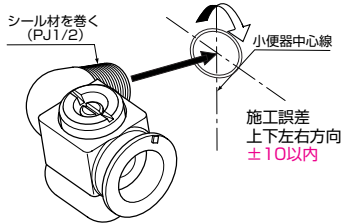
スイッチボックスの周囲をモルタルで埋め戻します。



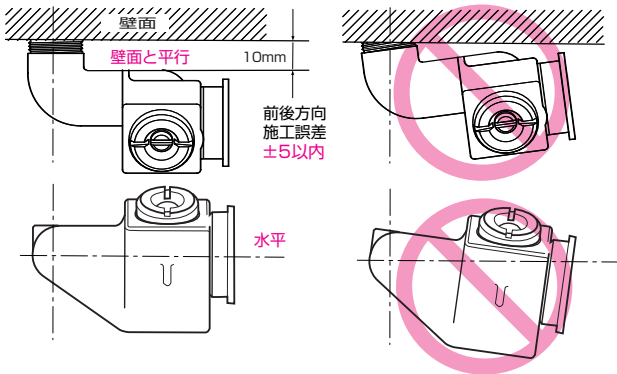
裏面へつづく

5. 止水栓の取り付け

- ① 取り付け前に必ず通水し、給水管内のごみを除去してください。
- 接続部にシール材を巻き矢印の方向へねじこみます。



- ※ 止水栓は施工誤差許容範囲内に施工してください。
- ※ 止水栓は床面・壁面に対して平行になるように取り付けてください。部品が陶器に接触して取り付けできない場合があります。



品番	上下方向	左右方向	前後方向
US810系	940±10		
US820系	1040±10		
US860系	1040±10	±10	±5
US800系	1040±10		

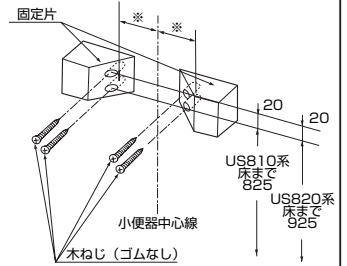
6-1. 本体の取り付け<US810系・US820系>

- ※ 小便器本体を取り付ける前に必ず排水金具を取り付けてください。取り付けの際は排水金具と同梱の取付説明書に従って取り付けてください。(T64CWを除く)

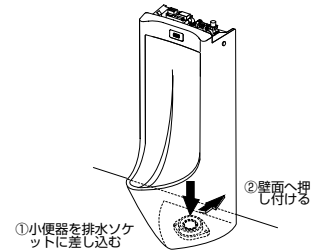
- ① 図の位置に固定片を取り付けます。

※寸法

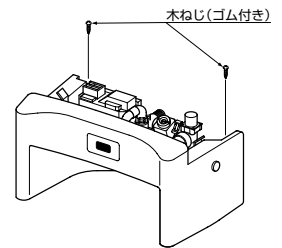
品番	※寸法
US810系	117
US820系	140



- ② 小便器排水口周辺のごみを取り除き、小便器を排水ソケットに差し込みます。小便器と壁面にすき間が生じる場合は小便器を壁面に押し付けてください。



- ③ 小便器後面を壁面に付けた状態で木ねじを取付穴から固定片にねじ込み、小便器を固定してください。



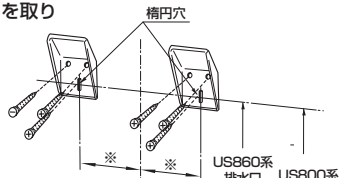
- ※ 木ねじを強く締め込みすぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
- ※ 小便器本体を止水栓にあてないよう、ご注意ください。

6-2. 本体の取り付け<US860系・US800系>

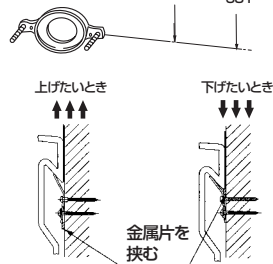
- ① 図の位置にバックハンガーを取り付けます。

※寸法

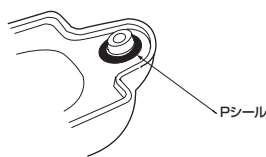
品番	※寸法
US860系	136
US800系	133.5



- ※ バックハンガーは最初から3本の木ねじで固定せず、楕円穴のみで仮止めします。Pシールを付けずに小便器を掛けて所定の位置になるよう調整し、本固定します。その際、小便器が所定の高さにつかない場合は、バックハンガーの木ねじをゆるめ、壁との間に金属片を挟んで調整します。

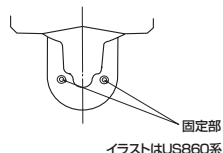


- ② 小便器排水口周辺のごみや水分を取り除き、Pシールを小便器排水口に取り付けます。



- ③ 小便器をバックハンガーにかけ、フランジのボルトで小便器下部を固定します。

- ※ ナットを強く締め込みすぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
- ※ 小便器本体を止水栓にあてないよう、ご注意ください。



7. 止水栓とバルブの接続

- 施工時にワンタッチリングを外さないでください。

- 止水栓とバルブの接続は、クイックファスナーで行います。
- ※ クイックファスナーは止水栓の箱の中に入っています。

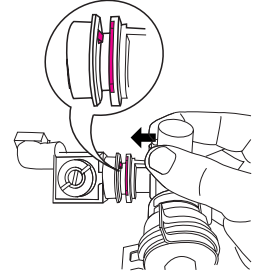


<取付方法>

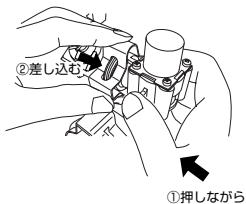
- ① バルブのリング養生紙を取り除きます。

注意
 パルブのリングにごみの付着や傷付きがないよう注意する
 必ず実行

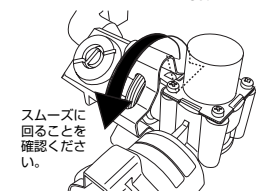
- ② バルブを止水栓へ差し込みます。止水栓のつばの突起にバルブのつばの溝を合わせて差し込んでください。



- ③ 止水栓とバルブのつばを合わせて、クイックファスナーを差し込みます。バルブの差し込みが不十分な場合、クイックファスナーが正常に取り付けできません。



- ④ クイックファスナーの中溝につばがしっかり入っているか確認し、前後に回転させて止水栓とバルブの接続状態を確認してください。



注意
 クイックファスナー接続後、スムーズに回転しない場合は接続作業をやり直す
 クイックファスナーの接続が不完全だと水漏れの原因になります。
 クイックファスナー接続後、必ずインシュロックにて固定する
 必ず実行

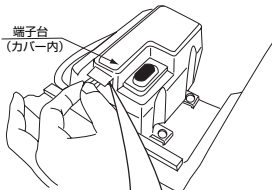
※クイックファスナー取付方法は、取付説明書を参照してください。

8. 電源線の接続 (AC100Vタイプのみ)

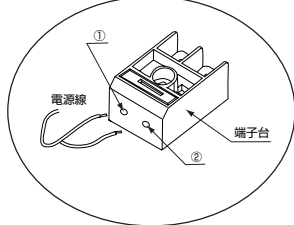
⚠ 警告

❗ 通電していないことを確認のうえ、接続を行う
必ず実行

<接続>

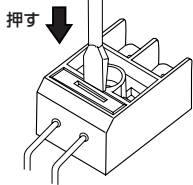


●スイッチボックスから電源線を取り出し防水カバーの後ろを通し、端子2つ(①と②)に接続してください。



※電源線が長すぎる場合は切ってください。
※先端の被覆を10~15mm程度むいて差し込んでください。

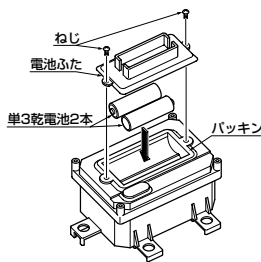
<取り外し>



⚠ 注意

❗ 電源線を取り外す場合は必ずマイナスドライバーで電源端子台上面の白い部分を押し取り外す
無理に引き抜きますと、コントローラーが破損するおそれがあります。
必ず実行

9. 乾電池の挿入(乾電池タイプのみ)



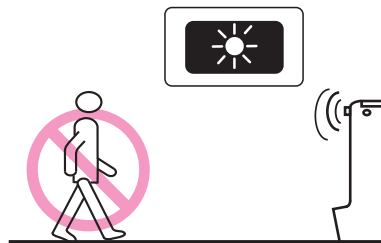
●乾電池の挿入は防水カバーを手で開いて作業してください。
●コントローラーの電池ふたのねじをゆるめ電池ふたを外し、乾電池の向きを間違わないように2本入れてください。
※乾電池の極性に注意してください。
※乾電池挿入後10分間は、感知状態を確認できるように光电センサー感知時にランプが点灯します。その後は感知しても、電池寿命保持のため、ランプは点灯しません。

10. 給水接続箇所の水漏れ確認

●配管接続の間違いないことを確認後、配管に通水し、配管と止水栓の接続、および止水栓とバルブの接続において水漏れがないことを確認します。

11. 光电センサー感知距離調整

●光电センサーの感知距離調整は自動で行います。
※電源投入後すぐに光电センサー感知距離の自動調整機能が働きますが、**人体以外の感知により光电センサーのランプが点灯し続ける場合は、感知距離調整中ですので、ランプが消えるまで人体による感知がないようご注意ください。**
※ランプ点灯中に人体感知があると調整に要する時間が長くなります。ランプが消えれば調整完了です。



12. 便器洗浄動作確認

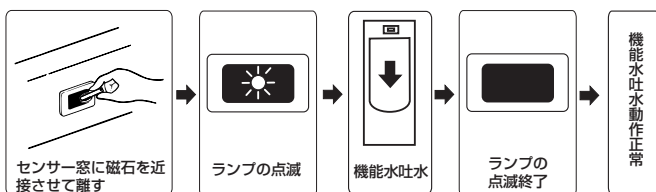
●人体感知のない状態で、光电センサーのランプが消えていることを確認したあと光电センサーを感知させて便器洗浄が動作することを確認します。
※ACタイプでは通電直後に自動で便器洗浄を行います。通電直後の自動洗浄後、上記の確認を行ってください。



※人体感知のない状態で光电センサーが点灯しているときは、光电センサーが感知距離の自動調整を行っています。ランプの点灯が消えるまでお待ちください。(詳細は「11. 光电センサー感知距離調整」をご確認ください)

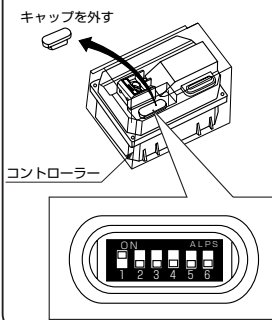
13. 機能水吐水動作確認 (ジアテクトタイプのみ)

●通電してから10分以内に付属の洗浄用磁石をセンサー窓に近づけてください。点検モードに入って機能水動作の点検をコントローラーが自動的に行います。このとき、各部の水漏れがないことを確認してください。
※10分以内に点検できなかった場合は、一度電源を落として再度通電して上記動作を繰り返してください。
※点検モードによる洗浄中は、光电センサーのランプが点滅します。



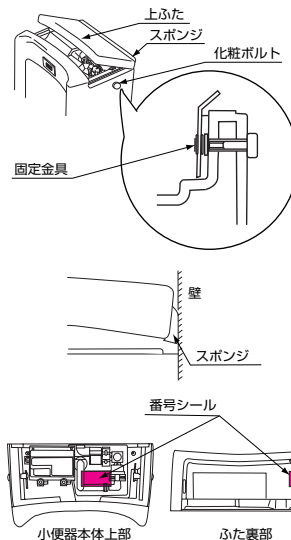
※ランプ点滅があっても通水が始まらない場合、通水が終わってもランプ点滅が続くときは機能水吐水が正常に行われていないことが考えられますので東陶メンテナンス(株)にご連絡ください。

14. 前洗浄の設定



※前洗浄スイッチは工場出荷時、「切」に設定してあります。
①コントローラーの設定切替スイッチのキャップを外し、1番スイッチをONにしてください。
②アルカリ乾電池タイプは、2番スイッチで前洗浄の水量を設定してください。
※AC100Vタイプは0.5L/回固定です。
ON …… 0.5L/回
OFF …… 2.0L/回
③設定後はキャップを元どりに取り付けてください。
※3~6番のスイッチは前洗浄の設定とは関係ありません。誤って3~6番スイッチをONにした場合は必ずOFFに戻してください。

15. 上ふたの取り付け



①固定金具がボルトの先端にくるように六角棒レンチ(呼び4)で化粧ボルトをゆるめてください。
②ふた後面に貼り付けてあるスポンジを壁に押しつけながら、ふたをのせます。化粧ボルトを回し、小便器本体と上ふたを固定します。
※化粧ボルトを強く締め込みすぎて、小便器本体を割らないようご注意ください。
※上ふたを固定後、上ふたと小便器本体の間にすき間が生じた場合は、いったん化粧ボルトをゆるめ、すき間ができないよう両側均一に締め直してください。
※上ふたは必ず同一梱包品を取り付けてください。上ふたと小便器本体は一体で生産しておりますので、同一梱包品以外の上ふたと組み合わせると、ガタツキを生じる場合があります。

※組み合わせは小便器本体の収納面と上ふた裏面に貼り付けた番号シールの数字でご確認ください。